

JANSI Annual Conference 2022 プログラム

開催日時 : 2022年3月23日(水)14:00~17:00 (Webexによるオンライン配信)

時間	内容
14:00~14:15	開会挨拶 原子力安全推進協会 会長 ウィリアム・エドワード・ウェブスター・ジュニア
14:15~14:35	来賓挨拶 原子力規制委員会 委員長 更田 豊志 氏 電気事業連合会 会長 池辺 和弘 氏 世界原子力発電事業者協会(WANO) 議長 トム・ミッチェル氏
14:35~15:20	基調講演「健全・安全で効果的な組織とは ~システミックなアプローチ~」 講演者:リンショーピング大学、パリ国立鉱山大学校、南デンマーク大学 名誉教授 Erik Hollnagel 氏
15:20~15:30	休憩
15:30~16:55	パネル討論「原子力安全のレジリエンス向上 ~発電所運営への新たな視点~」 座長:日本原子力研究開発機構(JAEA) 技術副主幹、長岡技術科学大学 准教授 大場 恭子 氏 討論者: リンショーピング大学、パリ国立鉱山大学校、南デンマーク大学 名誉教授 Erik Hollnagel氏 EDF社副社長、前WANO(世界原子力発電事業者協会)議長 Jacques Regaldo氏 労働者健康安全機構 理事、大阪大学医学部 招へい教授 中島 和江 氏 四国電力株式会社 取締役社長 社長執行役員 長井 啓介 氏 原子力安全推進協会 理事長 山崎 広美
16:55~17:00	閉会挨拶 原子力安全推進協会 理事長 山崎広美

世界最高水準の安全性の追求
~たゆまぬエクセレンスの追求~

一般社団法人 原子力安全推進協会
Japan Nuclear Safety Institute



JANSI Annual Conference 2022 について

- 原子力発電所の安全確保にあたっては、テロ対策を含む安全設備のハード面での対応が強化されてきています。またこれらの施設に係る対応訓練も実施されており、ソフト面での整備も進められています。
- 一方、製造業、医療など多くの産業において、多発する想定を超える自然災害、経営上の予期せぬ環境変化などへの対応として、「レジリエンス」が注目されています。「レジリエンス」とは、「しなやかで、回復力、対応力があること」を意味するものです。この考え方は安全に寄与する組織文化の核心と捉えられており、原子力産業界においても、発電所運営への新たな視点として、レジリエンスを高めていくことが重要です。
- 今回のカンファレンスにおいては、安全に寄与する組織文化に焦点をあて、その特性について国内外の有識者による議論を行い、理解を深めるとともに、原子力発電所のレジリエンス向上に向けた今後の活動を展望します。

